

## 和歌山県団体旅行誘致支援事業（募集型企画旅行）補助金交付要綱

### （目的）

第1条 この要綱は、公益社団法人和歌山県観光連盟（以下「連盟」という。）が、「紀伊山地の霊場と参詣道」の世界遺産登録20周年を契機とし、和歌山県への団体旅行客の誘致を図るため、和歌山県内での貸切バスで周遊する宿泊を伴う募集型企画旅行（旅行会社等が旅行計画を定め、参加する旅行者の募集をして実施する旅行のことをいう。以下同じ。）等の造成経費の一部を助成する団体旅行誘致支援事業（募集型企画旅行）補助金（以下、「補助金」という。以下同じ。）の交付に関し、必要な事項を定めるものとする。

### （対象事業者）

第2条 対象事業者は、次条の補助要件を満たす和歌山県への募集型企画旅行を実施した、旅行業法（昭和27年法律第239号）第3条の規定に基づき旅行業の登録を受けている旅行会社等とする。

### （補助要件）

第3条 バスツアーであって、次の要件を全て満たすもの又はこれに準ずるものとして連盟の会長（以下「会長」という。）が定めるものを対象とする。

- （1）募集型企画旅行であること。
- （2）貸切バスを利用した団体旅行であって、1団体の構成人数が10名以上（ドライバー及びガイドを除く）のバスツアーであること。
- （3）和歌山県外（日本国内に限る）を発着地とするバスツアーであること。ただし、航空機や鉄道などを含むツアーにおいて、滞在期間中に和歌山県内の貸切バスを利用する場合は、これに含む。
- （4）和歌山県内で1泊以上宿泊する、1泊2日以上バスツアーであること。
- （5）和歌山県内の観光地を1か所以上訪問・滞在するバスツアーであること。
- （6）令和6年9月1日から令和6年12月15日までの間に催行されるバスツアーであること。
- （7）参加募集に際しては、旅行商品のチラシや文書などに、「聖地リゾート！和歌山」の名称又はロゴ（下記ホームページ記載）を入れること。もしくは、参加者に対し、「聖地リゾート！和歌山」の記載がある県観光パンフレット等を提供すること。  
※ロゴデータは、和歌山県観光連盟ホームページ（<https://www.wakayama-kanko.or.jp/>）からダウンロードすること。
- （8）和歌山県観光連盟ホームページに記載のある体験メニュー（和歌山ほんまもん体験）または熊野古道等のウォーキング（30分以上）を組み込んだバスツアーであること。なお、ウォーキングの時間について、原則同一敷地内での自由滞在時間は含まないものとする。
- （9）宗教、政治、興行、視察、大会等への参加もしくは教育旅行を目的とするバスツアーでな

いこと。

2 前項の規定にかかわらず、他の連盟助成事業に係る補助を受けるバスツアーである場合、その他会長が不適当と認めた場合については、補助金の交付の対象としないものとする。

（補助額及び補助限度額）

第4条 催行日及び行程が同一のツアーを1つのツアーとみなし、1ツアーにつき2万円を補助する。なお、催行日及び行程が同一のツアーに複数台のバスが使用される場合は、全体で1ツアーとみなすこととする。

2 1事業者につき10万円を補助限度額とする。営業所が異なる場合であっても、同一事業者とみなし、合計10万円を補助限度額とする。

3 前2項の規定にかかわらず、前条第1項に規定する会長が定めるバスツアーの補助額は、予算の範囲内で会長が定める。

（補助金の交付申請）

第5条 補助金の交付を受けようとする者（以下、「補助事業者」という。）は、原則として、補助事業実施の20日前までに、補助金交付申請書（様式第1号）を会長に提出しなければならない。

2 補助金の交付申請期間は、令和6年6月4日から令和6年11月29日までとする。但し、補助金の交付決定額が予算額に達した場合は、補助金交付申請の受付を終了するものとする。

3 但し、前項の規定により受け付けることができなかった申請又は申請の意思表示（FAX又は電子メールによる申請書類の送信をいう。）については、到達した順に順位を付し、申請を受け付けたバスツアーが催行されなかった場合、又は補助要件を満たすことができなかった場合、順位の若い方から順に、予算の範囲内で交付決定を行うことができる。

（補助金の交付決定）

第6条 会長は、前条の規定により補助金交付申請書の提出があったときは、審査の上、補助金の交付を適当と認めた事業（以下、「補助事業」という。）について、予算の範囲内において、補助金交付決定通知書（様式第2号）により、補助事業者に通知するものとする。

（補助金の変更交付申請等）

第7条 補助事業者は、交付決定された補助事業の内容を変更又は中止する場合は、速やかに補助金変更交付（中止）申請書（様式第3号）を会長に提出しなければならない。

2 会長は、前項の規定により補助金変更交付（中止）申請書の提出があったときは、審査の上変更（中止）を認める場合は、補助金変更交付決定通知書（様式第4号）により、補助事業者に通知するものとする。

（実績報告）

第8条 補助事業者は、補助事業が完了したときは、完了後20日以内又は令和7年1月10日

のいずれか早い日までに、補助金実績報告書（様式第5号）を会長に提出しなければならない。

#### （補助金の確定）

第9条 会長は、前条の規定により補助金実績報告書の提出があったときは、必要な検査を行い、適正であると認めた場合は、予算の範囲内において、補助金の交付額を確定し、補助金額確定通知書（様式第6号）により、補助事業者に通知するものとする。

#### （補助金の支払い）

第10条 補助事業者は、補助金の支払いを受けようとするときは、補助金請求書（様式第7号）を会長に提出しなければならない。

2 補助金の支払いは、精算払いとする。

#### （補助金の交付決定の取り消し等）

第11条 会長は、第3条第1項に掲げる要件を満たさなかったバスツアーについて、当該補助金の交付決定の全部又は一部を取り消すものとする。

2 会長は、前項の規定により、当該補助金の交付決定の全部又は一部を取り消す場合は、補助金交付決定取消通知書（様式第8号）により、補助事業者に通知するものとする。

3 補助事業者が不正に補助金の交付を受けたことが判明した場合は、当該補助金の交付決定の全部又は一部を取り消すものとする。この場合、補助事業者は、当該取り消しに係る補助金に相当する金額を速やかに返還しなければならない。

#### （証拠書類の保存）

第12条 補助事業者は、補助金に係る経理についての収支の事実を明確にした証拠書類を整理し、かつ、これらの書類を事業が完了した日の属する会計年度の終了後5年間保存しなければならない。

#### （その他）

第13条 この要綱に定めるもののほか、必要の都度、会長が別に定める。

#### 附則

この要綱は、令和6年4月1日から適用する。

## 和歌山県団体旅行誘致支援事業（受注型企画旅行）補助金交付要綱

### （目的）

第1条 この要綱は、公益社団法人和歌山県観光連盟（以下「連盟」という。）が、「紀伊山地の霊場と参詣道」の世界遺産登録20周年を契機とし、和歌山県への団体旅行客の誘致を図るため、和歌山県内での貸切バスで周遊する宿泊を伴う受注型企画旅行（旅行者からの依頼により、旅行会社等が、旅行の目的地及び日程並びに運送又は宿泊の旅行サービスの内容並びに旅行代金を定めた旅行に関する計画を作成、提案し、実施する旅行をいう。）等の造成経費の一部を助成する団体旅行誘致支援事業（受注型企画旅行）補助金（以下、「補助金」という。以下同じ。）の交付に関し、必要な事項を定めるものとする。

### （対象事業者）

第2条 対象事業者は、次条の補助要件を満たす和歌山県への受注型企画旅行を実施した、旅行業法（昭和27年法律第239号）第3条の規定に基づき旅行業の登録を受けている旅行会社等とする。

### （補助要件）

第3条 バスツアーであって、次の要件を全て満たすもの又はこれに準ずるものとして連盟の会長（以下「会長」という。）が定めるものを対象とする。

- （1）受注型企画旅行であること。
- （2）貸切バスを利用した団体旅行であって、1団体の構成人数が10名以上（ドライバー及びガイドを除く）のバスツアーであること。
- （3）和歌山県外（日本国内に限る）を発着地とするバスツアーであること。ただし、航空機や鉄道などを含むツアーにおいて、滞在期間中に和歌山県内で貸切バスを利用する場合は、これを含む。
- （4）和歌山県内で1泊以上宿泊する、1泊2日以上バスツアーであること。
- （5）和歌山県内の観光地を1か所以上訪問・滞在するバスツアーであること。
- （6）令和6年9月1日から令和6年12月15日までの間に催行されるバスツアーであること。
- （7）参加募集に際しては、旅行商品のチラシや文書などに、「聖地リゾート！和歌山」の名称又はロゴ（下記ホームページ掲載）を入れること。もしくは、参加者に対し、「聖地リゾート！和歌山」の記載がある県観光パンフレット等を提供すること。  
※ロゴデータは、和歌山県観光連盟ホームページ（<https://www.wakayama-kanko.or.jp/>）からダウンロードすること。
- （8）和歌山県観光連盟ホームページに記載のある体験メニュー（和歌山ほんまもん体験）または熊野古道等のウォーキング（30分以上）を組み込んだバスツアーであること。なお、ウォーキングの時間について、原則同一敷地内での自由滞在時間は含まないものとする。

(9) 宗教、政治、興行、視察、大会等への参加もしくは教育旅行を目的とするバスツアーでないこと。

2 前項の規定にかかわらず、他の連盟助成事業に係る補助を受けるバスツアーである場合、その他会長が不適当と認めた場合については、補助金の交付の対象としないものとする。

#### (補助額及び補助限度額)

第4条 催行日及び行程が同一のツアーを1つのツアーとみなし、1ツアーにつき2万円を補助する。なお、催行日及び行程が同一のツアーに複数台のバスが使用される場合は、全体で1ツアーとみなすこととする。

2 県内バス業者を利用する場合は、1ツアーにつき3万円を補助する。

3 1事業者につき9万円を補助限度額とする。営業所が異なる場合であっても、同一事業者とみなし、合計9万円を補助限度額とする。

4 前3項の規定にかかわらず、前条第1項に規定する会長が定めるバスツアーの補助額は、予算の範囲内で会長が定める。

#### (補助金の交付申請)

第5条 補助金の交付を受けようとする者(以下、「補助事業者」という。)は、原則として、補助事業実施の20日前までに、補助金交付申請書(様式第1号)を会長に提出しなければならない。

2 補助金の交付申請期間は、令和6年6月4日から令和6年11月29日までとする。但し、補助金の交付決定額が予算額に達した場合は、補助金交付申請の受付を終了するものとする。

3 但し、前項の規定により受け付けることができなかった申請又は申請の意思表示(FAX又は電子メールによる申請書類の送信をいう。)については、到達した順に順位を付し、申請を受け付けたバスツアーが催行されなかった場合、又は補助要件を満たすことができなかった場合、順位の若い方から順に、予算の範囲内で交付決定を行うことができる。

#### (補助金の交付決定)

第6条 会長は、前条の規定により補助金交付申請書の提出があったときは、審査の上、補助金の交付を適当と認めた事業(以下、「補助事業」という。)について、予算の範囲内において、補助金交付決定通知書(様式第2号)により、補助事業者に通知するものとする。

#### (補助金の変更交付申請等)

第7条 補助事業者は、交付決定された補助事業の内容を変更又は中止する場合は、速やかに補助金変更交付(中止)申請書(様式第3号)を会長に提出しなければならない。

2 会長は、前項の規定により補助金変更(中止)交付申請書の提出があったときは、審査の上変更(中止)を認める場合、補助金変更交付決定通知書(様式第4号)により、補助事業者に通知するものとする。

（実績報告）

第8条 補助事業者は、補助事業が完了したときは、完了後20日以内又は令和7年1月10日のいずれか早い日までに、補助金実績報告書（様式第5号）を会長に提出しなければならない。

（補助金の確定）

第9条 会長は、前条の規定により補助金実績報告書の提出があったときは、必要な検査を行い、適正であると認めた場合は、予算の範囲内において、補助金の交付額を確定し、補助金額確定通知書（様式第6号）により、補助事業者に通知するものとする。

（補助金の支払い）

第10条 補助事業者は、補助金の支払いを受けようとするときは、補助金請求書（様式第7号）を会長に提出しなければならない。

2 補助金の支払いは、精算払いとする。

（補助金の交付決定の取り消し等）

第11条 会長は、第3条第1項に掲げる要件を満たさなかったバスツアーについて、当該補助金の交付決定の全部又は一部を取り消すものとする。

2 会長は、前項の規定により、当該補助金の交付決定の全部又は一部を取り消す場合は、補助金交付決定取消通知書（様式第8号）により、補助事業者に通知するものとする。

3 補助事業者が不正に補助金の交付を受けたことが判明した場合は、当該補助金の交付決定の全部又は一部を取り消すものとする。この場合、補助事業者は、当該取り消しに係る補助金に相当する金額を速やかに返還しなければならない。

（証拠書類の保存）

第12条 補助事業者は、補助金に係る経理についての収支の事実を明確にした証拠書類を整理し、かつ、これらの書類を事業が完了した日の属する会計年度の終了後5年間保存しなければならない。

（その他）

第13条 この要綱に定めるもののほか、必要の都度、会長が別に定める。

附則

この要綱は、令和6年4月1日から適用する。

印

5 添付書類（募集チラシ、旅行商品パンフレット、行程表等）

様式第 2 号

番 号  
年 月 日

様

公益社団法人和歌山県観光連盟  
会 長

和歌山県団体旅行誘致支援事業補助金交付決定通知書

年 月 日付けで交付申請のあった和歌山県団体旅行誘致支援事業（ 型  
企画旅行）補助金について、下記のとおり交付を決定します。

記

1 交付決定額 円

2 補助の条件  
団体旅行誘致支援事業補助金交付要綱のとおり

3 その他



様式第3号

年 月 日

公益社団法人和歌山県観光連盟会長 様

(申請者)

所在地

事業者名

代表者名

印

## 和歌山県団体旅行誘致支援事業補助金変更交付（中止）申請書

年 月 日付けで交付決定のあった和歌山県団体旅行誘致支援事業補助金について、同補助金交付要綱に基づき、下記のとおり補助事業の内容を変更（中止）し、申請します。

## 記

- 1 旅行商品種別 受注型企画旅行 ・ 募集型企画旅行

※該当する方を○で囲んでください。

- 2 変更交付申請金額 円

- 3 名称

- 4 変更・中止の区分： ☐変更 ☐中止

- ## 5 理由

- ## 6 変更の場合の変更内容

※旅行行程を変更する場合は、変更後の行程表を添付してください。

様式第4号

番 号  
年 月 日

様

公益社団法人和歌山県観光連盟  
会 長

和歌山県団体旅行誘致支援事業補助金変更交付決定通知書

年 月 日付けで変更交付（中止）申請のあった和歌山県団体旅行誘致支援事業（ 型企画旅行）補助金について、下記のとおり変更交付を決定します。

記

1 変更交付決定額 円

2 補助の条件

団体旅行誘致支援事業補助金交付要綱のとおり

3 その他

公益社団法人和歌山県観光連盟会長 様

(申請者)

所在地

事業者名

代表者名

印

## 和歌山県団体旅行誘致支援事業補助金実績報告書

年 月 日付けで交付決定のあった和歌山県団体旅行誘致支援事業について、同補助金交付要綱に基づき、下記のとおり補助事業の実績を報告します。

## 記

1 旅行商品種別 受注型企画旅行 ・ 募集型企画旅行

※該当する方を○で囲んでください。

2 補助金額 円

3 補助事業（バスツアー）の内容

(1) 名称		
(2) 催行日		
(3) 旅行者数	受注型の場合 人	募集型の場合 人
(4) 実施本数	本	

4 連絡先

(1) 担当者名

(2) 電話番号

(3) メールアドレス

※ 上記連絡先については、当補助金の手続きのほか、当補助金の最新情報及び和歌山県の観光情報の周知の目的でのみ利用します。

5 添付書類（最終行程表、その他証拠書類等）

- ①宿泊人数、日付が記載された宿泊領収書（写）、宿泊クーポン（写）など宿泊人数、日付が確認できる資料
- ②観光地のチケット（写）、領収書（写）など観光地に訪問・滞在したことが確認できる資料
- ③契約書（写）、領収書（写）など和歌山県内の貸切バスを利用したことが確認できる資料  
（※交付要綱第3条（3）ただし書きに該当する場合）
- ④募集パンフレット等、「聖地リゾート！和歌山」の名称やロゴが記載されていることが確認できる資料
- ④最終の旅行行程表（体験メニュー、ウォーキング等を組み込んでいることが確認できる資料）

様式第 6 号

番 号  
年 月 日

様

公益社団法人和歌山県観光連盟  
会 長

和歌山県団体旅行誘致支援事業補助金額確定通知書

年 月 日付けで実績報告のあった和歌山県団体旅行誘致支援事業（ 型  
企画旅行）補助金について、下記のとおり補助金額を確定します。

記

1 補助金確定額 円

2 その他

様式第7号

## 請 求 書

金 額						
-----	--	--	--	--	--	--

ただし、和歌山県団体旅行誘致支援事業（ 型企画旅行）補助金として、上記の金額を請求します。

※アラビア数字で記載し、頭書に〒の記号を付し、訂正しないでください

年 月 日

公益社団法人和歌山県観光連盟会長 様

(申 請 者)

所 在 地

事業者名

代表者名

印

支 払 の 方 法	口 座 振 替 払	銀行 (支) 店												
		銀行コード							支店コード					
		預金 種目	当座 <input type="text"/>	普通 <input type="text"/>	口座番号									
		(フリガナ) 口 座 名 義												

様式第 8 号

番 号  
年 月 日

様

公益社団法人和歌山県観光連盟  
会 長

和歌山県団体旅行誘致支援事業補助金交付決定取消通知書

年 月 日付けで交付決定した和歌山県団体旅行誘致支援事業（ 型企画  
旅行）補助金について、交付決定を取り消します。

記

1 交付決定取消額 円

2 取消の理由

3 その他

名 称：

催 行 日：